



# 第23回夏季デフリンピック競技大会 サムスン2017



引用：サムスンデフリンピック公式サイトより

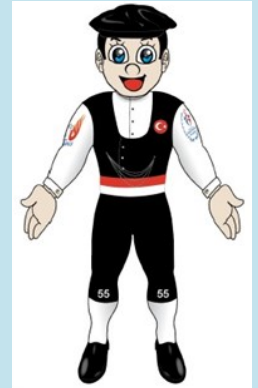
トルコの北端の黒海沿いにある町、サムスンにて7月18～30日に開催され、新たにゴルフが加わり、21競技が実施された。日本からは選手108名、役員69名が派遣され、11競技に出場した。



(地図：Google マップより引用)

マスコットキャラクター  
Çakır(チャクール)くん

大会ロゴマーク

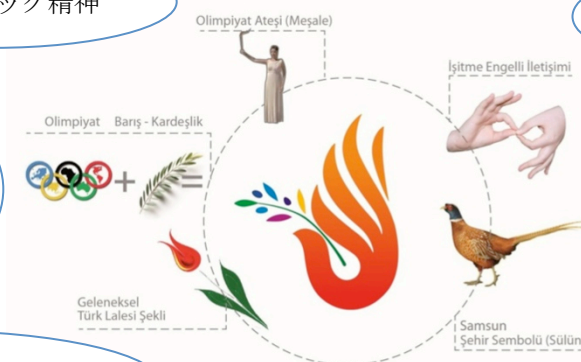


## 大会ロゴマークの由来

オリンピック精神

五輪カラー  
と  
平和と友好の象徴  
「オリーブの枝」

トルコ国花「チューリップ」



国際手話「手」

サムスン市のシンボル  
「キジ」

ちなみに日本の国鳥は「キジ」！

## 国際手話をマスターしている Çakır (チャクール) くん

“Being able to communicate with the sign language, Çakır becomes the first mascot in the history of the Turkish sports that can talk. Çakır gave sign language education to volunteers who will take part in the 23rd Summer Deaflympics.”

大会ボランティアに向けた国際手話講習にて、チャクールくんが講師を務める。こういったマスコットキャラクターを使った取組がまた面白い。





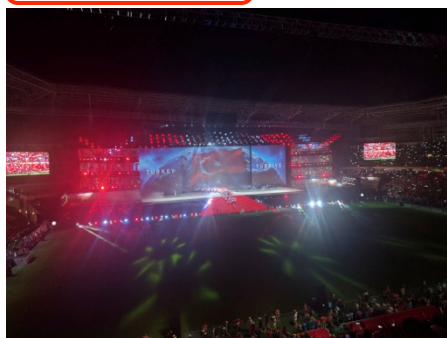
# 第23回夏季デフリンピック競技大会 サムスン 2017



## 今大会のすごさはココ！

写真提供：サムスンデフリンピック公式サイト

### 盛大な開会式



ドローンが飛び回って撮影  
日本でもNHK（一般）で初めて放映される

### 大規模な広報活動



空港から選手村まで40kmほどあるが、のぼりがほぼ途切れることなくずらりと並んでいた



町の中では建物にこのように大きなポスターが設置されていた

### 大会グッズ販売



空港、選手村などに店出されていた



### デフリンピック初の選手村



日本は上から3つ目の建物

階段が長かった…

大学の学生寮を借りて選手村として使用

### 景観をきれいに…



陸上競技場の向こう側に見える家の外壁をデフリンピックカラー（赤・黄色・青・緑）に塗装したという

### SNSの充実



アプリからライブ中継も見られる

### 五輪とともに…



五輪マークにデフリンピックマークを並べて宣伝！初めての試みか？

## 背景に、2020年の五輪招致活動か？

トルコは、2020年五輪開催地としてイスタンブールが、マドリッド、東京とともに最終立候補都市の3カ国まで残っていたが、東京に勝ち取られてしまった。その後、2024年の開催地としては立候補していない。その代わり、デフリンピック開催に、五輪のために作った資金を充てたのではないかという話がある。

## 国際手話通訳スタッフがヨーロッパ各国から集結！！

国際手話通訳スタッフ（きこえる人）を、ヨーロッパ各国から集め、さらにトルコ国内でも通訳講座を実施して通訳スタッフを育てる取組が行われていた。中東地域とはいえ、ヨーロッパ各国からアクセスしやすく、通訳者を集めやすい利点がある。また、選手や関係者を送迎するバスの運転手も各国の言語を話せる人が集められていたようだ。（日本の国旗がフロントガラスに貼り付けられたバスに乗ったら運転手に日本語で話しかけられました！）